

「やらされている活動」では

公式戦や演奏会に参加するあなたは、監督や指導者から「開始五分前に集合しなさい」と言われたらどうしますか。その通りにする人はまさかいないでしょうね。試合や演奏会では、ウォーミングアップや音合わせなどが必要ですから、余裕をもって会場に行きますよね。会場に到着する時間には多少の違いはあっても、余裕をもって本番に臨みベストを尽くす、それが本来の姿です。今朝、学習委員長候補のUY君の面接に立ち会いました。

「前々から二分前学習には意味があるのかな」と思っていた彼の真意は聞いていませんが、恐らく二分前学習がやらされている活動になっているからでしょう。授業前の学習には賛成ですが、これまでのように「やらなければならない活動」として今後も続くなら、北中の授業や学習に大きな成長はないと私も思います。

彼の発言に私は大賛成！「意味があるのかな」と思った彼の真意は聞いていませんが、恐らく二分前学習がやらされている活動になっているからでしょう。授業前の学習には賛成ですが、これまでのように「やらなければならない活動」として今後も続くなら、北中の授業や学習に大きな成長はないと私も思います。



執行部の面接を受けるUY君（奥）

北中の生徒に身につけてほしいのは「主体性」。自分で考え、自分で判断する。そして、自分で行動を起こす。この力を身につけなければ、一人一人の可能性は広がりません。全員で取り組む授業は大切にしながら、そのために自分がやるべきことは何なのかをみつけることです。授業という試合または演奏会が数分後に始まるようにしているのに、気もちが高まっていない状態では、最高のパフォーマンスは生まれません。そんな試合や演奏会を何度繰り返しても結果は同じです。

授業二分前：「今日の授業で扱う部分を教科書で確かめておこう」「前回わからなかった問題をもう一度解いておこう」「係の仕事があつてトイレに行けなかったから今行っておこう」一人一人判断は違うはず。同じなのは、次の授業に向けて気もちが高まっていることだね。これが一人一人の「本当の二分前」なのではないのかな。

（六月十七日 記）